第21回 青少年健全育成チャリティーゴルフ大会

令和６年11月2日（土）
つるやカントリークラブ西宮北コース

阪神南青少年本部の青少年健全育成事業や青少年愛護に関する活動を支援くださる方々が参加し、「第 21 回青少年健全育成チャリティーゴルフ大会」が開催されました。

当日はあいにくの雨でしたが沢山の方にご参加いただきました。表彰式では主催の青少年健全育成事業を支援する会の太田博会長から当日集まった寄附金をいただき、阪本阪神南青少年本部長より、兵庫県青少年本部の感謝状を贈呈しました。

皆様からいただいたご厚志にお礼申し上げますとともに、青少年健全育成をめざして有効に活用させていただきます。

阪神南エリア「子どもの冒険ひろば」へ行こう！！

あしやっこプレーパーク

芦屋市高浜町5

☆原　則　毎月第３土曜日　午前９時～12時
☆芦屋浜高層団地第２集会所とその前のひろば

【運　営】一般社団法人さんぴぃす
【連絡先】0797-22-8896（大脇）
E-Mail：info@sanps.jp

Google Map

あしやっこプレーパークでは、季節に合わせた工作やクッキングなども行っています。お気軽に遊びにきてください。

国有地プレーパーク

西宮市久保町1

☆毎週水曜日・土曜日　午前11時～午後５時
　毎月第２・第４月曜日　午前10時～午後１時
☆国道43号線本町交差点南東角

【運　営】にしのみや遊び場つくろう会
【連絡先】090-1144-3867（米山）
X：@nishinomiya_pp

Google Map

国有地プレーパークは、ターザンロープや木登り、水遊びなど、思いのままに遊べる、大人にも楽しい居場所です。

阪神南青少年本部賛助会員ご入会のお願い ～青少年健全育成のためにご協力を～

阪神南青少年本部が実施している自主事業は、皆様からの温かいご支援（賛助会費）によって行われています。

あなたも、子ども達の健やかな成長を支える一人になりませんか？

賛助会費
個人会員 … 年間 １口　2,000円
団体会員 … 年間 １口　10,000円

賛助会員カードを呈示すると、県内の一部施設の入館料・入園料等の割引を受けることができます。

対象施設･特典等は
こちらをご覧ください。

ご入会手続き・お問合せ先
阪神南青少年本部　TEL **06-6481-4634**

＊阪神南青少年本部＊ なかま通信 Vol.45

〒660-8588　尼崎市東難波町 5-21-8
（阪神南県民センター 県民躍動室・県民課内）
TEL：06-6481-4634　FAX：06-6482-0579

阪神南青少年本部
ホームページ

2024年12月発行

子どもの可能性を広げるカギ？

阪神南青少年本部長
阪 本　茂 樹

子育て世代にとって、習い事は大きな関心事のひとつです。

「時期を見極めると、子どもの能力は効率的に伸ばすことができる」と言います。

脳が成長する順序を知ることで、子育てに生かせることがあるのです。

子どもの才能を伸ばすため、取り組むのにより効率的な時期があると言えます。

習い事で言えば、視覚や聴覚が発達する０歳児は図鑑や絵本、音楽に触れさせ始めるのに適しています。

運動野が発達のピークを迎える３～５歳ごろはスポーツに加え、音楽にも良い時期です。英語など第二言語の獲得は１０歳ごろまでに始めるのが効率的だという報告もあります。

ただ、子どもに対して過度な期待をかけたり、睡眠や親子の会話時間、体を動かす時間が削られたりすることは脳の発達にとっても良いことではありません。十分な睡眠や遊び時間なども確保したうえで、本人が好きであれば習い事も良いと思います。

それよりも伸びる子どもに育てるには、早くから子どもの好奇心を育ててあげることが重要だと思います。それが習い事である必要はありません。

好奇心があると、より専門的な知識の獲得にも積極的になると言われています。脳は何かを突き詰めれば、他の分野についても脳を成長させやすくなるという特徴があります。

バーチャルの情報とリアルの体験を結びつけ、子どもの好奇心を刺激してあげると「知ること」が純粋に楽しくなって、子どもの力も伸びていくものです。

次代を担う子ども達には、能力を効率的に伸ばして、その可能性を広げてもらいたいものです。

新しい年が皆様にとりまして良い年になりますように、ご祈念申し上げます。

令和６年度 阪神南青少年本部会議・常任委員会・スクラム会議　令和6年6月19日（水）

阪神南地区の青少年健全育成を推進するための協議の場として、阪神南青少年本部会議・常任委員会・スクラム会議を尼崎市総合文化センターで開催しました。

令和５年度事業報告と収支決算、令和６年度の事業計画・収支予算に加え、役員選出について審議し、すべての議案が可決されました。

会議後は甲南女子大学人間科学部心理学科の浅野 恭子（あさの やすこ）准教授にご登壇いただき、「性をはぐくむ親子の対話～自分も人も大切に～」をご講演いただきました。

事業報告

親子演劇鑑賞体験

令和６年８月３日（土）

尼崎市南塚口町の兵庫県立尼崎青少年創造劇場「ピッコロシアター」にて、ピッコロ劇団ファミリー劇場「さらっていってよピーターパン」を親子で鑑賞しました。ピッコロ劇団による楽しい演劇と美しい歌に、あっという間の 90 分間でした。

終演後は、演出家と出演者によるバックステージ解説もあり、子どもも大人も興味深く聴き入っていました。ご来場いただいた皆様、ピッコロ劇場・劇団の皆様、素晴らしいステージをありがとうございました。

（参加者数：親子 49 組 103 名）

いきいき わくわく 野球観戦

令和６年９月 23 日（月･祝）

阪神甲子園球場にて、「阪神タイガースVS読売ジャイアンツ」の熱戦を観戦しました。８月30日（金）のナイターが台風の影響で延期となり、９月 23 日（月・祝）の開催となりました。

秋晴れの中、みんなで声を出し、元気いっぱい応援しました。大盛り上がりの試合を観戦し、良い思い出を作ることができました。

（参加者数：児童福祉施設招待者等 90 名）

共催事業

小学生スナッグゴルフ大会

令和６年８月 16 日（金）

【主催】一般社団法人西宮市ゴルフ協会

六十余年の歴史がある「西宮カントリー倶楽部」において、第 20 回小学生スナッグゴルフ記念大会が開催されました。昨年は台風による影響で中止となりましたが、今年は好天に恵まれ本格的な芝生の美しいコースでスナッグゴルフを楽しむことが出来ました。

終了後はクラブハウスで表彰式が行われ、素晴らしい成績に保護者から驚きの声もあがりました。

（参加者数：89 名）

マリンスポーツ体験会

令和６年６月８日（土）、９月 23 日（月･祝）

【主催】兵庫県立海洋体育館、甲子園浜マリンスポーツ体験フェスティバル 2024 実行委員会、他

阪神南地区の特性を活かしたマリンスポーツ体験会が芦屋浜と甲子園浜で開催され、初心者の子ども達を中心に、様々なマリンスポーツを楽しんでいただきました。6 月の芦屋浜ではカヤック＆カヌーを中心にSUPやドラゴンボートを体験。9月の甲子園浜では、SUPに加え、ウィンドサーフィンとウィングフォイルを楽しみました。

参加者数

６月 ８ 日	延べ 493 名
９月 23 日	105 名

令和6年度　阪神南青少年本部助成事業（11月までの実績）

・尼崎市剣道連盟「第 75 回阪神親善剣道大会」
・阪神人形劇連絡協議会「'24 ピッコロフェスティバル」
・オープンゲートスポーツクラブ「カヌーポロ体験会」

阪神南青少年本部では、青少年団体等が行う文化・スポーツ・レクリエーション活動等に対して、助成金の交付を行っています。

第 46 回少年の主張兵庫県大会「中学生のメッセージ 2024」

令和６年９月 28 日（土）
兵庫県民会館　けんみんホール

中学生が日常生活の中での心からの思いや考え、感銘を受けたことなどを自分自身の言葉でまとめ広く発表する「中学生のメッセージ 2024」が行われました。

阪神南地区からは、武庫川女子大学附属中学校 2 年の倉内結愛（くらうち ゆあ）さんが出場しました。「アイヌとこれからの日本社会」と題し、差別のない世界の大切さを主張され、奨励賞を受賞されました。

アイヌとこれからの日本社会」

武庫川女子大学附属中学校 2 年
倉 内　結 愛

私は夏休みに家族で北海道へ旅行をしました。北海道の観光地を調べると、国立アイヌ民族博物館があり、アイヌ民族の文化や歴史について詳しく調べてみたいと思い立ち寄りました。博物館は広大な敷地の中にあり、建物が点在していました。アイヌの生活様式を伝える村のような形で、一歩入ったらそこはアイヌの世界にタイムスリップしたようでした。資料館でアイヌの歴史をスライドショーで観覧し、あまりのひどい歴史に私は絶句しました。

明治時代、政府が行った和人社会への「同化政策」の結果、アイヌの人々は困難を余儀なくされました。その例として、アイヌ語や生活習慣を禁止し、伝統的に利用してきた土地を取り上げてサケ猟や鹿猟を禁止しました。これは私はアイヌの人々の「生きる人権」を奪う行為ではないかと考えました。日本人に置き換えると、日本語を使うことの禁止、生活習慣、和食、仕事を奪うことと同じなのではないかと考えました。政府は一体なぜこのような政策を行ったのでしょう。誰か止める人はいなかったのか疑問に思います。

さらに驚いたことは、明治三十二年の「北海道旧土人保護法」によってようやくアイヌに土地を与え、農民化を提したけれど、実際に与えられた土地は農地に適さない狭く固い土地で、おまけに日本語教育を行いアイヌの人々の立場に立った法制度ではなかったことです。この点から考え、政府が行ってきた行為は差別やいじめと同じであると思いました。

私がアイヌ民族の歴史を今回の旅行で知ったように、日本人の中でどれくらいの方がアイヌの歴史や差別を知っているでしょうか。初めから北海道は日本の領土だと思っている方もいるのではないでしょうか。北海道は明治以前、豊かな文化を育んできたアイヌの人々の大地でした。アイヌの人々が日本人の侵略によって迫害されてきたという歴史的認識が今の時代でも希薄であるように思います。

現在、アイヌの人々は日本各地に住んでいます。しかし、現在も民族差別を受けているという実態を知りました。進学、恋愛、就職、結婚などの人生の節目の時に差別がつきまとっている現状だそうです。また、親は子どもが差別の対象にならないように、アイヌ語や民族文化を教えることを拒み、自分がアイヌであることを隠して生活している人もいます。人として与えられた命や生きる権利はみんな平等でなければいけないのに、世の中にはこのような思いをして生活している方がいることを知り、私はこのような民族差別がこの世の中にあってはならないと思いました。

これらの民族差別は今後の日本社会においても大きな課題を与えているのではないでしょうか。グローバル化社会と言われている今日、日本の少子化による労働者の激減により外国人労働者が増え、日本国内には多数の民族が生活する時代がやってくると思います。私の住んでいる町でも、既にコンビニの店員の方はアジア系の外国の方です。ファミリーレストランの店員の方も外国の方が接客されています。このように、今後の日本は外国人労働者の増加により、国内では文化の違いから意見の衝突が起きたり、英語が母国語となる未来があってもおかしくはないのかなと考えます。様々な国の人が集まり、民族差別の問題がさらに生まれるのではないかと心配します。

ではどのように民族差別をなくし、解決したらよいのか私ができることを考えてみました。それは、それぞれの国の文化や伝統を学び、生活習慣を知り、歩み寄ることではないでしょうか。また、他国の言語を学び、コミュニケーションをとれるようにすることです。これなら今からでも実践できそうです。民族差別は決してあってはいけません。生まれ育った環境が違うのだから違う意見をもつことは当然です。お互いがお互いの国や人権を尊重しながら、他者を理解し、コミュニケーションをとり歩み寄る気持ちこそが差別をなくす一歩になると思います。手と手を取り合い世界の人々が笑顔で過ごせる世の中になることを強く願いたいです。

倉内結愛さんの発表を動画でご覧いただけます→

ご挨拶

阪神南こころ豊かな人づくり委員会　会長 添田 ひろみ

中学生が「闇バイト」で逮捕のニュースに衝撃を受けました。時代時代で子どもたちをとり巻く環境に、大人はどう対応していけばいいのか、難しい課題です。

私たちは、大きなことは出来ませんが、今年度も2月に行われます「阪神南ふれあいフェア」に向けて、準備を進めています。たくさんの笑顔にふれられることを楽しみにしています。

今後とも、微力ですが、子ども達の考える力・想像力を高めるために出来ることを考えていきたいです。